



## 平成25年度博士課程教育リーディングプログラム 採択決定！

『**超大規模脳情報を高度に技術するブレイン情報アーキテクトの育成**  
～最先端エレクトロニクスと脳科学メディカルフォトンクスで、脳を学び、脳に学ぶ～』

**豊橋技術科学大学は、文部科学省「平成25年度博士課程教育リーディングプログラム(複合領域型・「情報」)」事業に申請し、採択**されました。

本事業は、文部科学省が、優秀な学生を俯瞰力と独創力を備え広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーへと導くため、国内外の第一級の教員・学生を結集し、産・学・官の参画を得つつ、専門分野の枠を超えて博士課程前期・後期一貫した世界に適用する質の保証された学位プログラムを構築・展開する大学院教育の抜本的改革を支援し、最高学府に相応しい大学院の形成を推進することを目的に、平成23年度に創設されました。

今年度、全区分では62大学102事業の申請があり、15大学18事業が採択され、『複合領域型・「情報」』には11事業の応募があり、4事業が採択されました。

補助事業期間は、平成25年度から平成31年度までの7年間で予定しています。

### 【本事業の背景と狙い】

本プログラムは人間の認知、理解、意思決定、行動を支える脳に対する科学的理解に立脚した情報技術を創り出す博士人材「ブレイン情報アーキテクト」の養成を目的とするものです。現代社会に見られる高度情報化は、利便性の向上と同時に、システムの長大化・巨大化・複雑化、環境負荷の増大、情報格差の拡大といった様々な問題を生んでいます。本プログラムで養成するブレイン情報アーキテクトは、これらの問題を解決し、新しい情報化社会を切り開く人材として、本学の強みである情報エレクトロニクスによって人間＝脳をより深く理解し、その理解に基づいてさらに情報技術を深化させることが期待されます。

本プログラムでは、これまでに本学が蓄積してきた卓越した教育研究実績の上に、脳科学を深化させる「技術を創る」、情報エレクトロニクス技術を駆使して「脳を学ぶ」、革新的情報技術を生み出すために「脳に学ぶ」という3つのミッションを掲げ、それらをサイクルとして連動させた新しい博士課程教育プログラムを、浜松医科大学の脳情報メディカルフォトンクス技術の他、国内外の研究機関の脳情報科学研究基盤、また産業界の脳情報技術開発力を結集して構築します。

**※本件の詳細については、10月16日(水)の本学定例記者会見にて説明させていただきます。**

### 【本件に関する連絡先】

担当者：教務課長 松本 TEL 0532-44-6541

広報担当：総務課広報係 堤、小島 TEL 0532-44-6506

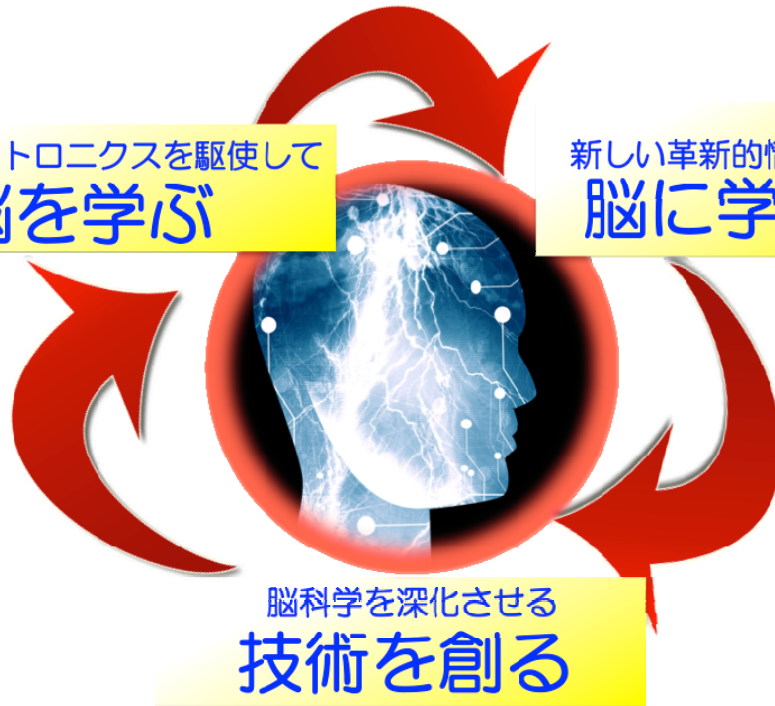
# ブレイン情報アーキテクトの育成

情報エレクトロニクスを駆使して

**脳を学ぶ**

新しい革新的情報技術を

**脳に学ぶ**



脳科学を深化させる

**技術を創る**

強い先端情報エレクトロニクス技術を背景として持ち

- ・ 脳科学を深化させる新たな情報技術を生み出す
- ・ 情報技術を駆使して脳科学を深化させる
- ・ 脳に学んだ革新的情報技術を生み出す